

# 有害使用済機器の保管等に関する調査の 実施について

# 1. バーゼル法輸出入規制事前相談資料の調査

国内における雑品スクラップの取引、選別、保管、分析等の実態を把握するため、バーゼル法輸出入規制事前相談書を調査し、輸出品の排出元、分類、品目名、量、廃棄物該当性の有無、使用済家電の混入の有無、火災の原因となる物質の混入の有無、成分分析結果等を取りまとめ、現地調査対象選定の参考とする。

## <調査対象>

### ■ バーゼル法輸出入規制事前相談データ(平成28年度分)

- 「廃棄物等輸出入管理システム」に入力されているデータをベースに、必要に応じて個別の事前相談書の記載事項も参照しながら分析
- 必要に応じて平成29年4～7月分データを追加して分析

### ■ 「廃棄物等輸出入管理システム」に入力されているデータ

- 輸出入予定者
- 申告予定エリア、申告予定時期
- 相手国、輸出入相手の事業者等
- 貨物区分、貨物内訳
- 貨物量、貨物の発生元 等

### ■ 個別の事前相談書の記載事項

- 貨物の荷姿(コンテナ、フレコン、バラ積み等)
- 国内収集経路
- 輸出入後の処理作業の方法、場所
- インボイス、仕入伝票、有害物質の成分分析結果、貨物の写真 等

# 1. バーゼル法輸出入規制事前相談資料の調査

平成28年度分の事前相談件数は、49,119件。  
貨物量、貨物種類別に見た件数の分布は以下のとおり。

## 〔1〕貨物量、貨物種類別件数

次ページ以降ではメタルスクラップ×1,000トン以上の貨物(3,260件、約790万t)を対象に傾向を分析

### 【貨物量-規模区分】

合計	該当件数	貨物量総数(t)	100t未満	100～500t	500～1,000t	1,000t以上	1,000～5,000t	5,000t以上
全体	49,119	10,845,877	40,185	4,970	637	3,282	2,908	374
輸出	48,508	10,825,907	39,610	4,934	637	3,282	2,908	374
輸入	611	19,970	575	36	0	0	0	0

### 【貨物種類別-規模区分】

貨物種類別	該当件数	貨物量総数(t)	100t未満	100～500t	500～1,000t	1,000t以上	1,000～5,000t	5,000t以上
ゴムスクラップ	151	5,203	148	2	0	0	0	0
その他	209	10,916	182	27	0	0	0	0
メタルスクラップ	<b>13,446</b>	<b>8,928,514</b>	<b>7,962</b>	<b>1,584</b>	<b>628</b>	<b>3,260</b>	<b>2,892</b>	<b>368</b>
灰・スラグ・ドロス・汚泥	373	30,871	295	76	0	2	2	0
中古(その他製品)	238	8,926	212	26	0	0	0	0
中古電気機器	<b>1,059</b>	<b>10,892</b>	<b>1,057</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>
中古遊技機	64	305	64	0	0	0	0	0
廃プラ	33,176	1,831,505	29,892	3,226	8	20	14	6
廃触媒	76	4,955	62	13	1	0	0	0
廃遊技機	327	13,791	311	15	0	0	0	0

# 1. バーゼル法輸出入規制事前相談資料の調査

## 〔2〕輸出相手国別

メタルスクラップ×貨物量1,000トン以上  
 貨物内訳を「鉄スクラップ規格品等」と「その他(雑品、ミックスメタル等)」に区分して集計  
 【相談件数】

相手国	相談件数	区分	
		鉄スクラップ規格品等	その他
中国	1,460	38	1,422
韓国	1,300	1,300	0
ベトナム	288	288	0
台湾	178	178	0
バングラディシュ	23	23	0
香港	1	0	1
タイ	7	7	0
マレーシア	1	1	0
インドネシア	2	2	0
総計	3,260	1,837	1,423

## 【貨物量】

相手国	貨物量 (t)	区分	
		鉄スクラップ規格品等	その他
中国	1,866,748	124,588	1,742,161
韓国	3,475,706	3,475,706	0
ベトナム	1,620,530	1,620,530	0
台湾	673,711	673,711	0
バングラディシュ	214,600	214,600	0
香港	4,000	0	4,000
タイ	39,850	39,850	0
マレーシア	1,000	1,000	0
インドネシア	2,000	2,000	0
総計	7,898,146	6,151,985	1,746,161

## 〔3〕輸出予定者(業者)

メタルスクラップ×貨物量1,000トン以上  
 貨物内訳で「その他」に区分した貨物(1,423件)  
 輸出予定者 = 約153業者

## 〔4〕貨物内訳の記載事項別

メタルスクラップ×貨物量1,000トン以上  
 貨物内訳で「その他」に区分した貨物(1,423件)について、貨物  
 内訳の記載品目別に集計  
 ※貨物内訳は自由記述のため、重複あり

### 【貨物内訳欄に多い項目】

貨物内訳	件数	貨物量 (t)
モーター	511	1,704,516
配電盤	486	1,620,732
ラジエーター	474	1,581,656
ミックスメタル...	153	695,722
被覆線	126	488,266
雑品...	116	241,369
湯沸し器	46	103,640

現地調査にあたっては、これらを取り扱っている業者のヤード  
 を含めてはどうか

### 〔貨物内訳 記載例〕

- ✓ ミックスメタル(銅付雑品、電線、ラジエーター、モーター、配電盤)
- ✓ 雑品(モーター、ラジエーター、配電盤、被覆電線、鉄、アルミ、銅、ステン、鉄鋼屑)
- ✓ 雑品(鉄アルミ、モーター、配電盤、給湯器、ラジエーター、被覆電線)
- ✓ 雑品(配電盤、モーター、鉄付ラジエーター、湯沸し器)

## 2. 保管ヤード実態に関する都道府県及び政令市へのアンケート調査

雑品スクラップ保管ヤードにおいて生じた、火災等の環境影響、その原因等について把握するため、都道府県及び政令市が、業務上把握している雑品スクラップ保管ヤードにおいて生じた環境影響の実態とその原因に関する項目等について、情報を収集・整理し、その結果のとりまとめを行う。

### <調査方法>

- 各保管ヤードの基本情報を把握するため、以下の設問を設定
  - 都道府県及び政令市が把握している保管ヤードの実態
  - 各保管ヤードの事業者が保有する許可・免許等
  
- 取扱い品目の現状を把握するため、以下の設問を設定
  - 各保管ヤードの取扱い品目等
  
- 雑品スクラップの保管・処分状況を把握するため、以下の設問を設定
  - 各保管ヤードの保管状況(囲いの設置、飛散・流出防止等)
  - 各保管ヤードの処理の有無・状況
  
- 環境影響事案の状況を把握するため、以下の設問を設定
  - 環境影響事案(火災等の状況、有害物質飛散等の状況、悪臭等の状況)の有無
  - 環境影響事案の原因物質や原因機器

### 3. 保管ヤード実態に関する現地調査

雑品スクラップ保管ヤードを複数選定し、当該保管ヤードにおける有害使用済機器及び雑品スクラップに含まれる機器の品目、混合及び分別などの保管状況並びに破碎及び分解等の状況を調査する。

#### <調査方針>

- 実地調査する雑品スクラップ保管ヤードの選定方針は次のとおり。
  - 不用品回収業者からの引取先となっている中小規模のヤード(内陸部や郊外に多く存在)と、中小規模のヤードからの引取先であり輸出等の拠点となっている湾岸ヤードの2種類を選定する。
  - 保管のみ、保管・処分を実施している業者の双方を選定する。
- 調査項目は次のとおり。
  - 雑品スクラップの取引状況(引取先、引取量、引取後の取扱、保管状況、引渡先、引渡량)
  - 雑品スクラップの構成物(品目の割合)
  - 雑品スクラップの保管・処分状況(保管場所・方法、解体・破碎方法等)
  - 火災や有害物質の飛散・流出等の実態、原因物質・機器 等

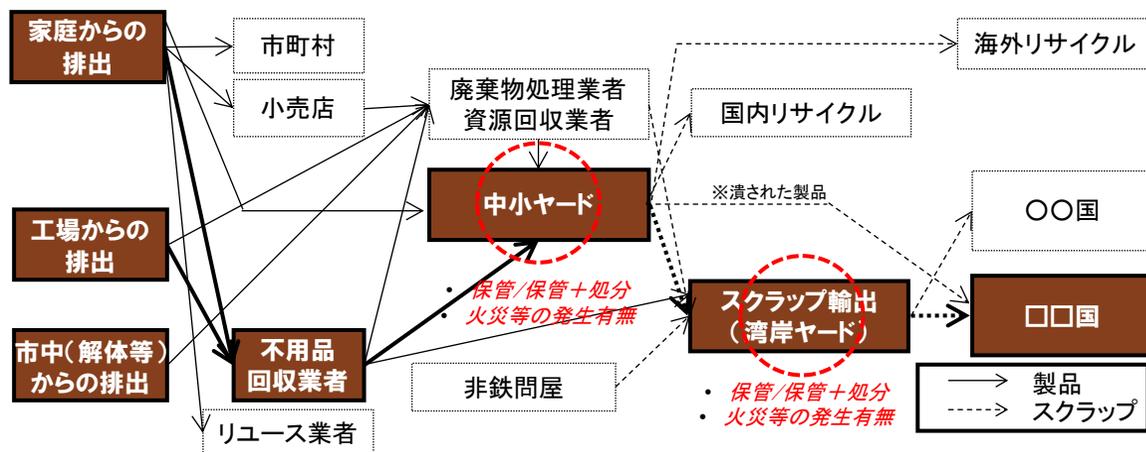


図.スクラップとして流通する使用済電気・電子機器のフロー(概観)